

# かしわ もり 柏葉の杜



学校だより NO. 11  
令和元年 7月11日  
八頭町立八東小学校  
電話71-0108 FAX71-0107

## ○第15回八頭町八東支部高齢者福祉大会での全校合唱 ～ 「校歌」・「われは海の子」・「ふるさと」を全校で歌いました。 ～

地域の社会福祉活動貢献の一環として、10日(水)午前中、短時間ではありましたが、本年度の八頭町八東支部の高齢者福祉大会に参加しました。全校1441名で「八東小学校校歌」(2部合唱)、文部省唱歌「われは海の子」、そして、手話つきの「ふるさと」の3曲の合唱を披露しました。

子供たちの歌声に、たくさんの高齢者のみなさんが感動して下さり、温かい拍手をたくさん頂きました。高齢者のみなさんにとっては、近所の子供たちであったり、お孫さんもおられたようで、子供たちの歌に一心に耳を傾けて下さっていました。



こうした形で少しでも地域貢献ができればと思い、参加依頼を快諾しました。学校統合で地域から子供たちの声が消えていく中で、少しでも、子供たちの声を届けることができるといふ思いからです。子供たちの歌声をうれしそうに、笑顔で聞かれる高齢者のみなさんの姿を見ると、こうした活動の大切さを痛感します。

今後も地域とつながる「かかわる子」を大切にしていきます。夏休み中、子供たちが地域の様々な活動に参加し、地域に「かかわる子」となるよう、各家庭でも働きかけをお願いします。

夏休みまであと、1週間あまりです。7月19日(金)の終業式まで、もうひとがんばりです。

## ○八頭町小中学校PTA連絡協議会・青少年健全育成八頭町民会議共催 八頭町子育て講演会に参加して(6月23日・日)

演題 「池田家の人々と教育」 ～ 父の言葉と絶家への道筋 ～  
講師 旧鳥取藩主池田家第16代当主(池田家最後の当主) 池田 百合子 氏  
(尚、池田家は、16代当主、池田百合子さんを最後に絶家となります)

講師の池田百合子氏は、柔和な表情をされたかわいらしいおばあさんでした。1933年生まれですので、86歳の高齢ですが、1時間30分近い時間を、原稿をもとに丁寧にお話しされる姿は、池田家の16代当主であり、徳川慶喜の曾孫としての毅然とした姿も感じました。ご自身の話をされながら、池田家の家庭教育について話して下さいました。大きく次の2点についての話を紹介します。心に刻んでおきたい言葉があります。

### 【 祖父・仲博 (= 15代将軍・徳川慶喜の5男)、父・徳真の二人から受けた教え 】

○祖父が常々言っていた。「あなたは、たまたまこうして恵まれた家に生まれた訳で、恵まれない人に対する優しい心を持ってほしい。」という言葉。そして、池田家のために働いている人々に対して、感謝の気持ちを。更に、どの人に対しても、等距離で平等に接していくことが大切。えこひいきをしない。

○幼稚園の年長の頃から、口癖のように言われていたこととして、「人の悪口は決して言わない。大丈夫だろうと思っても、まわりまわって、必ず、その人に伝わってしまう。また、頭の中に浮かんだこと、それをすぐに口に出してはいけない。口に出しそうになったことを、飲み込んで言わない。言ってしまったことは、取り返しがつかない。 = 「口は禍のもと」を肝に銘じて。

(SNSの問題にも触れられました。送ってしまったからは、取り消しできない。)

### 【 自分自身の仕事の上で学んだこと、感じたこと 】

早稲田大学の国際部の創設に関わり、国際部の教授・副部長をされながら、外国の留学生を迎え入れ、外国に留学生を送り出す中で、感じたことや思ったこと。

○日本人が次第に傲慢になっている。「please」や「thank you」を言わなくなっている。日本人の相手へのいいえない思いが失われている。こうしたマジックワードを大切にしてほしい。相手の目をみて、感謝の気持ちを伝えること。それを忘れないこと。世界がグローバル化していく中で、より一層、大切にしてほしい。

○国際部に通うフランスからの帰国子女が驚いたこととして、今の日本の子供たち、大人の言葉の乱暴さに、非常に驚いた。乱暴な言葉が多い。「ありがとう」を始めとした日本の文化を大切にしてほしい。

**○実物を見て学ぶ、現場で学ぶ。1学期の学習も大詰めですが、教室から出かけています。**  
 ～ 「百聞は一見に如かず」 です ～

学習を進める中で、教科書での学びを実際の見学で更に深める。昔から、大切にされてきた学びの姿です。社会見学だったり、自然観察のフィールドワークだったり、教科によって違いがありますが、紙ベースでの学びより、教育的効果はたくさんあります。しかし、一方で時間とその効果を考えた時、いくつかは削っていかなくてはなりません。最近、ICTも発達し、電子黒板などを活用した映像での学習もより簡便になりましたが、やはり、実物に触れる学習・現場で本物を見る学習に勝る物はありません。

この6月から7月初旬にかけても、社会見学、自然観察、野外探索などの学習を、梅雨空と相談しながら実施してきました。簡単に写真で紹介します。



**4年生の社会見学**  
 鳥取消防署・鳥取警察署・秋里下水処理場を1日かけて見学しました。4年生の学習では欠かせない学習です。



**3年生の駅見学**  
 郡家駅周辺にて



**1/2年生の水辺の生き物の観察会** 水辺の生き物を室内でじっくり観察しました。(響の森の先生と)



**○第1回資源回収・収入報告**

6月2日(日)9日(日)に行いました第1回資源回収に、保護者・地域みなさんに御協力頂き、ありがとうございました。資源回収の収益金も分かり、収入の報告をします。

・木下産業	437,085円
・町補助金	90,447円
<b>合計</b>	<b>527,532円</b>

(昨年よりやや減額でした)

今回は、10月27日(日)午前8時より3地域合同で実施しますので、それまでたくさん各家庭で貯めておいて下さい。よろしくお祈りします。ありがとうございました。

**○2年生ちまき作り、大成功。**  
 ～ 八東3地区公民館のみなさんと一緒に ～



2年生は5日(金)に3地区の公民館のみなさんと一緒にちまき作り挑戦しました。まきの粉をこねて団子作りをし、それをきれいに洗って掃除して頂いた笹でくさね、蒸し器で蒸し上げて、たくさんのちまきができました。初めて、ちまきを作る子供が多く、まきの粉をこねるところからうれしい笑顔がいっぱいでした。こうしたちまき作りも、シカの食害で笹も減り、なかなか笹を用意するのが大変な状況の中、公民館のみなさんのお力で準備して頂き、無事に実施できました。日本の文化に触れる貴重な体験でした。蒸し上がってから、みんなで温かいちまきを1個ずつ食べました。ありがとうございました。ALITのニコール先生も一緒に参加しました。

